



中野市産地・観光 PR 用
シンボルマーク

第 2 期中野市保健事業実施計画・第 3 期特定健診等実施計画

中間評価

令和 3 年 2 月

中野市健康福祉部

健康づくり課・福祉課

第2期中野市保健事業実施計画・第3期特定健診等実施計画とは

健康増進法に基づき、被保険者の健康の保持増進に資することを目的として保険者等が効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、特定健診等の結果、レセプトデータ等の健康・医療情報を活用して、P D C Aサイクルに沿って運用するとしています。

計画期間は、2018年度から2023年度の6年間とし、2020年度に中間評価を行います。

第2期中野市保健事業実施計画の概要

1 策定経過

第1期計画で脳血管疾患、虚血性心疾患、慢性腎不全を重点に重症化予防を進めた。

→結果・・・医療費の減少、外来受療率の増加、外来医療費の増加抑制

→医療費適正化が図られた。

→しかし、新たな課題として・・・介護認定の増加、高血圧・脂質異常症に係る費用の増加

→背景には・・・継続した治療ができていないか、重症化予防の視点が課題

→第2期へ継続

2 成果目標

中長期的な目標

◇ 医療費の伸びを抑える

◇ 入院の伸び率を2023年度に国並みにする（重症化予防により入院を抑える）

◇ 脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の3つの患者割合を2018（H30）年度比0.2%減少させる

短期的な目標

◇ 高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の減少

（脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の血管変化における共通のリスク）

◇ 毎年、血圧、血糖、脂質、慢性腎臓病の検査結果の改善

（食事摂取基準（2015年版）の基本的な考え方ベース）

第3期特定健診・特定保健指導等実施計画の概要

1 位置づけ

第2期中野市保健事業の短期的な目標の実施方法として、健診の機会の提供、状況に応じた保健指導を実施し、生活習慣病の発症予防、重症化予防につなげるものです。

2 目標

（単位：％）

	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
特定健診実施率	51	55	60	64	68	70
特定保健指導実施率	39	40	42	43	44	45

（参考 国の第3期特定健康診査等基本方針による2023年度までの目標値）

	全国	市町村 国保	国保組合	健保	私学共済	共済組合
特定健診実施率	70%以上	60%以上	70%以上	65%以上	85%以上	90%以上
特定保健指導実施率	45%以上	60%以上	30%以上	35%以上	30%以上	45%以上

特定健診・特定保健指導等実施計画の評価

- 1 評価を行うにあたっては、短期的評価・中長期的評価の視点で行います。

【短期的評価】

データヘルス計画等合わせ年1回実施
(KDB等の情報を活用)

【中長期的評価】

脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の患者割合と合わせて評価します。

- 2 具体的な評価方法

「特定健康診査等実施計画作成の手引き（第3版）」に記載の評価方法を参考に実施します。

【特定健診・特定保健指導の実施率】

国への実績報告（法定報告）を評価に活用

【メタボリックシンドロームの該当者・予備軍（特定保健指導の該当者）の減少率】

特定保健指導該当者の減少

中野市保健事業の成果目標達成に向けての内容

- 1 糖尿病性腎症の取り組み

腎症重症化予防プログラム事業

【短期的評価】

- ◇ 受診勧奨対象者への介入率
- ◇ 医療機関受診率
- ◇ 医療機関未受診者への再勧奨数
- ◇ 保健指導率
- ◇ 介入前後の検査値の変化を比較

- 2 虚血性心疾患の取り組み

虚血性心疾患重症化予防事業

脳血管予防に関する包括的リスク管理チャート 2015、虚血性心疾患の一次予防ガイドライン 2012 改訂版、血管機能非侵襲的評価法に関する各学会ガイドライン等を活用し重点保健指導を実施する。

【短期的評価】

- ◇ 高血圧、糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドローム、LDL コレステロール等重症化予防対象者の減少

- 3 脳血管疾患の取り組み

脳血管疾患重症化予防事業

脳卒中治療ガイドライン、脳卒中予防への提言、高血圧治療ガイドラインを活用し重点保健指導を実施する。

【短期的評価】

- ◇ 高血圧、糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドローム等重症化予防対象者の減少

第2期中野市保健事業実施計画・第3期中野市特定健診等実施計画 中間評価調査

※ 評価については、A～Dの4つの区分により判定する。A:達成 B:一部達成できているが、改善が必要 C:達成できていない D:評価困難

医療の状況	評価指標		目標 R5	初期値		実績値			評価	分析・改善策
	一人あたり医療費 (円)	中野市 (参考)県		H28	H29	H30	R1			
				23,226	24,050	23,316	25,238			
医療の状況	一人あたり医療費 (円)	中野市 (参考)県	23,226	24,050	23,316	25,238	25,941	B	H28よりの一人当たりの医療費は8.7%増加している。県(11.3%)と比較すると伸びは抑えている。入院件数は減少しているが、一人あたりの医療費は増加している。一人当たりの医療費を抑えるため、生活習慣病の重症化予防に引きつづき取り組み組んでいく。	
										入院件数 (件)
疾患ごとの患者割合	糖尿病性腎症の患者割合 (%)	中野市 (参考)国	△0.2	0.9	1.0	1.1	1.3	C	H29年より糖尿病性腎症重症化予防プログラムを開始し、糖尿病治療中の方への保健指導にかかりつけ医との連携体制ができた。医師会との報告会も実施し共有をしている。しかし、かかりつけ医の指示書があっても本人に拒否されるケースがあったり、対象に人間ドック受診者や診療情報提供書提出者を含んでいないため、集団健診受診者のみになっており、保健指導が行える対象者が限られている。今後は、慢性腎不全の重症化予防のため、糖尿病がない方に関してもしっかりかかりつけ医、腎専門医との連携する体制の構築していく。須高管内の医療機関にもプログラムの了承を得て対象を増やしたい。また高齢者の保健事業と介護予防の一体化に向け、後期高齢者を保健指導の対象にしていくことも検討する。	
									虚血性心疾患の患者割合 (%)	2.4
疾患ごとの患者割合	脳血管疾患の患者割合 (%)	中野市 (参考)国	△0.2	3.0	3.2	3.4	3.0	C	脳血管疾患患者割合の減少を目標に、新規脳血管疾患患者を減らすことを目的とし、脳血管疾患重症化予防事業を行っている。 脳血管疾患のリスク因子となる高血糖は、中野市の健康課題であり健診やイベント、食事のチラシ、広報など様々なところで普及啓発を行っている。また各学校の養護教諭と連携を取り、生徒・保護者の指導に出前講座を行っている。重点保健指導健診事後事業として、脳血管疾患のリスク因子の有所見者に対し、重点保健指導を行い、医療機関の受診勧奨を行っている。受診勧奨を行っても未受診者がおり、治療やその後の指導に結びつかない方がいる。 今後は、高度高血圧、高度高血糖、高度高コレステロール等の重症化ハイリスク者に対し優先度を決め、訪問指導を行うなど重点保健指導を充実させていく。また、効果的な保健指導資料の作成等を行い、健診時の指導等を充実していく。	

中長期評価

第2期中野市保健事業実施計画・第3期中野市特定健診等実施計画 中間評価調査書

※ 評価については、A～Dの4つの区分により判定する。A:達成 B:一部達成できているが、改善が必要 C:達成できていない D:評価困難

短期評価	評価指標		目標 R5	初期値			実績値			評価	分析・改善策
	メタボリックシンドローム	該当者 (%)		H28	H29	H30	R1				
				27.2	27.0	28.8	25.8				
メタボリックシンドローム	男	27.2	27.0	28.8	25.8						
		9.8	10.1	10.3	10.6						
	女	14.3	16.4	16.1	16.3						
		4.3	5.6	5.1	5.5						
特定健診・特定保健指導	目標	-	-	51	55						
	実績	-	50.2	48.6	44.6 (※速報値)						
特定保健指導実施率 (%)	目標	-	-	39	40						
	実績	38.4	42.7	50.6	48.1 (※速報値)						

特定保健指導実施率は目標値を達成できている一方で、メタボリックシンドロームの改善率が低い。

今後は特に、女性のメタボリックシンドロームへの対策や、薬剤治療中のメタボリックシンドローム該当者に重点的に取り組む。また効果的な保健指導についての研修等を行い、改善につながる保健指導を行う。

予備軍については男女とも増加している。将来的なメタボリックシンドロームの減少を目指し、若年・子育て世代からの生活習慣病予防の啓発を行っていく。

地域の巡回や夜間健診の実施により多くの受診機会を提供している。一方で、定期通院している方については、「医療機関に通院中のため健診は受診しない」という方が毎年約1000人おり、通院と健診の違いや健診を受けることの意義を市民に伝えきれていない。

今後は、健診未受診者への受診勧奨において、通知方法を工夫するなどを行い受診者を増やすことを目指す。

H30から保健指導該当者を対象にした「からの測定会」を行い、個別に体組成等の測定や保健師・管理栄養士の相談が行える機会を設けている。過去2年は、それぞれ30名の参加があり特定保健指導率の向上につながった。